

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Is incisional biopsy of melanoma harmful?	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ7-6	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	16307945	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Am J Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	190	
	号	6	
	ページ	913-7	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原文言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2005 Dec	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Martin RCG 2nd	University of Louisville
その他著者 1		Scoggins CR	University of Louisville
その他著者 2		Ross MI	University of Texas
その他著者 3		Reintgen DS	Lakeland Regional cancer centre
その他著者 4		Noyes RD	LDS Hospital
その他著者 5		Edwards MJ	University of Arkansas
その他著者 6		McMasters KM	University of Louisville
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	切除生検、部分生検、shave biopsy それぞれ施行後の、センチネルリンパ節転移、局所再発、無病生存率、無遠隔転移生存率、全生存率を検討する	
	研究デザイン	コホート研究	
	セッティング	アメリカ、カナダ	
	対象者	Sunbelt Melanoma Trial にエントリーしたもののうち生検手技の種類が判明している 1782 症例。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	Excisional biopsy、incisional biopsy、shave biopsy	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	SNL metastasis	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	locoregional recurrence	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3	disease-free survival	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	4	distant disease-free survival	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	5	overall survival	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	3 群間にセンチネルリンパ節転移陽性率の差はなかったが、潰瘍（ $p=0.018$ 、カイ 2 乗）とリグレーション（ $p=0.022$ 、カイ 2 乗）の有無について有意差が認められたが、年齢、性別、tumor thickness、Clark level、脈管浸潤、原発部位、組織学的 subtype に関して有意差は認められなかった。 生検手技の違いは、センチネルリンパ節転移、局所・所属リンパ節転移、無病生存率、無遠隔転移生存率、総生存率に影響を与えなかった。	
	結論	不完全切除によってセンチネルリンパ節転移陽性率が上昇するかもしれないと考えられたが、そのようなことはなかった。	

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）